

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	つくば市家庭教育支援チーム (呼称:たのしい子育て・オアシス298)
活動開始年度	平成26年度
活動拠点	さくら民家園(つくば中央公園内)
活動範囲	つくば市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>主たるメンバー 6 人</u> ・民生委員(主任児童員)1名 ・元民生委員1名 ・元保育士1名 ・元教員1名 ・行政職員1名 ・その他 1名
具体的な活動内容	◎年間4～5回、つくば市内の季節食や行事を、公園内移築された築100年以上経つ藁葺の家と前庭で各行事の由来を聞き、親子と一緒に体験し、楽しむ。 平成27年度 ・衣装ケースを使ってミニ田んぼを作り、年末のしめ縄用の稲を植える ・七夕 墨をすって毛筆で願い事を書いた短冊を笹竹につける ・十五夜 十五夜のお飾りと里芋の泥落とし体験および新米でおにぎり ・「ならせ餅」の行事体験 餅つき・櫛の木に餅をつける(1月) 平成26年度 ・8月 旧暦七夕と落花生の植え付け(落花生ってどのように育つのか) ・10月 十三夜 ・12月 しめ縄作り体験と里芋の泥落とし ・1月 ならせ餅 ・3月 お雛様
活動を通して感じていること (成果、課題など)	(成果) ☆若い親子のみならず、つくば以外で育った人たちにとって知らなかった「つくばの年中行事」や「行事のいわれ・意味合い」を知ること、ふるさと意識、日本人の感性の豊かさを体験できる。 ☆大人も子供も一緒になって、作業したり、発見して驚いたりすることで、

家庭内での共通の話題作りの一端を担えている。

☆休日に実施することで、お父さんたちの参加も多く、お餅つきではお父さんたち同士の技術の伝授など、交流が生まれている。

☆民家園という場所も良い雰囲気をもたらしている。

☆外国人の参加もあり、日本文化の体験の場にもなっている。

(課題)

★民家園そのものの広さ、作業スペースの問題及びスタッフの能力から、毎回 10 組程度しか対応できないこと。

★伝統行事にしている年配者から、いかにそのたくさんの知識を伝え残してもらえるか。また、それをどう伝えていけるか。